

## 参考(バリアフリー日比谷公園プロジェクトについて)

都は、令和3年(2021年)7月に「都立日比谷公園再生整備計画」を策定し、日比谷公園の開園130周年を迎える令和15年(2033年)の完了に向け、本公園をエリアごとに段階的に整備していくこととしています。本計画は、日比谷公園を、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、誰もが利用しやすく、楽しめる公園に進化させ、将来の都民へ引き継いでいく必要があります。「バリアフリー日比谷公園プロジェクト」はその事業計画として、令和5年(2023年)7月に取りまとめたものです。

## ○本プロジェクトの基本的な考え方

- ・歴史的文化的な価値を継承しつつ、誰もがより楽しめる公園に進化させます

120年の時代を経て積層した魅力に更に磨きをかけ、バリアフリー化により誰もが利用しやすい空間の創出を目指します。都心の緑の骨格としてあり続け、文化や歴史を伝えるとともに、公園の立地特性を活かしてすべての来園者、そして将来の都民にとってWell being となる公園に進化させます。

- ・公園の緑を守っていきます

これまで受け継いできた公園の緑を守っていくとともに、将来にわたり上質な緑の空間であり続けるため、適切に樹木を保全します。

- ・アクセシビリティを向上させ、より多くの方が公園を訪れることを目指します

公園とまちをつなぐデッキの整備や、公園を囲む柵の撤去により、車椅子やベビーカーでも安全、快適かつ自由に多様な人々が訪れることができるよう、公園へのアクセシビリティ、公園内外の回遊性、まちとの一体性を高め、より訪れやすい公園を目指します。

## ○バリアフリーについての考え方

- ・誰もが利用しやすい公園にします。
- ・誰もが必要な情報にアクセスしやすい公園にします。
- ・誰もがより楽しんでもらえる公園にします。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000064197.pdf>